

## 「日韓原子力産業セミナー」・「日台原子力安全セミナー」報告書を刊行

当協会は、昨年10月に「第30回日韓原子力産業セミナー」、11月には「第24回日台原子力安全セミナー」を韓国原子力産業会議及び台湾の原子能委員会・核能研究所との共催で開催しました。今般、これらのセミナーの各報告書を刊行しましたのでお知らせ致します。

■ 日韓セミナーは、1979年より、当協会と韓国原産が中心となって、日本と韓国で交互に開催(2007年より隔年)しています。10月26日～27日に東京で開催したセミナーには、両国から計120名が参加し、原子力開発利用に関する最新の情報・意見交換を行いました。

セミナーのトピックとしては、特に「原子力発電所の運転・保守」のセッションにおいて、韓国側から原子力発電所の好運転実績の理由・背景および設備利用率94%達成を目指す取り組みについての紹介がありました。原子力発電所の設計・製造、放射性廃棄物管理、将来炉技術の3セッションに続くパネルセッションでは、共通の課題である「人材育成」をテーマに活発な討論が行われました。

レセプション開催にあわせて、30周年を記念しての挨拶と原産協会から韓国原産への記念品贈呈などを行いました。セミナー終了後、韓国代表団は六ヶ所燃料サイクル施設、柏崎刈羽原子力発電所、日立製作所の視察を行いました。

この報告書は、単にセミナーの開催結果だけでなく、参考資料として、韓国の原子力開発体制、動向や活発な海外戦略なども紹介しており、韓国の原子力開発の最新情報の集大成版としてご利用いただけます。



■ 日台原子力安全セミナーは、1986年以来毎年、当協会と台湾の原子力関係機関(原子能委員会、核能研究所、台湾電力等)との間で、原子力安全に係わる情報・意見の交換ならびに原子力関係者の交流を図るため、日本と台湾で交互に開催しているセミナーです。

第24回セミナーは、浅野・中部電力副社長を日本側準備委員長として、11月17日～18日、名古屋商工会議所で開催しました。日台双方から計100名が参加し、原子力安全に関する最新の情報・意見交換を行いました。

セミナーは、「原子力発電所の建設、運転・保守」、「放射性廃棄物管理」、「事象時対応、人材育成他」の3つの技術セッションに、日台双方から計16編の論文発表と討論が行われました。



台湾原子能委員会の蔡(ツァイ)大臣(主任委員)が来賓挨拶を行い、永続的に発展する「低炭素社会」を造り上げるために、原子力発電比率向上の重要性を指摘されました。具体的な原子力施策として、台湾は、現行ユニットの効率向上(設備利用率向上と出力向上)と運転認可の更新(40年から60年に延長)のほか、現在の

発電所サイトに新規ユニットを建設する方針を打ち出しています。

台湾代表団はセミナー前日の 16 日には日本原子力研究開発機構・東濃地科学センターの施設を見学し、セミナー終了後の 17 日午後からはトヨタ自動車工場、翌 18 日には中部電力・浜岡原子力発電所、19 日には中国電力・島根原子力発電所(3 号機建設現場)を見学しました。特に島根 3 号機は、台湾で建設中の龍門原子力発電所と同じ ABWR であり、台湾側は非常の興味深く見学するとともに、熱心に意見交換を行っていました。

なお、この報告書には、参考資料として最近の台湾の原子力事情を紹介しています。



頒布価格:

当協会会員 各 4,500 円(消費税、送料込み)、非会員 各 6,000 円(消費税、送料込み)。  
お問合せは、当協会国際部まで。Tel:03-6812-7109 (担当:小野瀬・和田)